



低い声で「こんにちは」とあいさつをし、待ち合わせの海岸にミニバットを持って現れた若者は、今回取材にに応じていただいた福永圭介さん。

実は圭介さん、とても国際的な方で、鹿児島経済大学経済学部（現国際大学）を卒業後、アメリカのシアトルに2年間海外留学をされ、留学中、野球のイチロー選手からサインをもらい、その時のバットを大事そうに持って来られ、見せてくださった。

海外での生活は、言葉だけではなく、文化や生活習慣など違うので大変じゃなかったですか？と尋ねると、「ノープロブレム」と答えてくれたが、留学先のホストファミリーが留学して2週間後に、「君に車も家も色々任せる。私たちは、シドニーへオリンピックを見に行ってくるよ！」と遊びに行った時は、困ったそうだが、大変でした。と尋ねると、やはり「ノープロブレム」の答え

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第49回目は、鳥井戸自治会の福永圭介さんです。

◎49人目

ふくなが
福永

けいすけ
圭介

さん 【鳥井戸自治会】

が返ってきた。

その後、東京で色々な国の方々が寝泊まりするゲストハウスの管理人を行い、2年前に帰省され、実家の牛乳配達や保険を扱った仕事をされている。

圭介さんは現在、家業の牛乳配達を1人でも多くの方々に飲んでほしいとチーズ作りやヨーグルト作りを学んだり、マクロビ（肉を使わない料理）やオーガニック料理を独学で学び、健康素材にこだわりながら、様々な料理に挑



戦っている。

最近では、色々なところで販売や料理の講師もされ、先日は鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターに香港から日本文化を学びに来られた学生にチーズ作りやタコス料理の指導もされていた。その際も、材料の塩やにがりなど素材にこだわり、料理されていた。

圭介さんは海外や東京にでて田舎のいい面・改善面がみえてきたという。

開催決定！

今年の『やまんなか音楽会 IN はなげ』の日程が決まりました。

場所：錦江町花瀬川石畳

期日：8月12日（金）・13日（土）両日とも18時30分～

内容：1日目（竹灯籠、ペットボトルキャンドル）

2日目（竹灯籠、ペットボトルキャンドル
中村瑞希&松元良作コンサート他）

問い合わせ先：企画課 Tel 22-3032



「外国人だから・移住してきたからというだけでいつまでも特別扱いや親切にされるのは返ってどちらもある。もっと地域に溶け込みやすい環境にしていきたい」と話した。そのために自分が必要！という事で、鹿児島県内のシニアマスターなどを取得された。錦江町にはもったいない食材や環境がそろっている、それらをうまく活用し錦江町に来ていただいた方々に肩の力を抜いて錦江町を楽しんでほしいと話した。

福永さんは、先を見据えながらも熱心に地域を学ぶ、おもてなしの心をもった好青年でした。



EDITORS

●広報マンになってやっと3ヶ月。一眼レフカメラは難しい。アングルや採り方、焦点の合わせ具合で色々出来上がりの写真が違ってくる。動きのある写真の採り方、対象物を引きたてる採り方など色々あるらしいが、とりあえず自己流でがんばっている。これまで記念撮影などと一緒に、みんな映ってほしいかなと思っていただけ、それ

だけじゃ目を引く写真になっていない。少しでも多くの方に「広報きんこう」を見ていただくには、人を引き付ける写真も大事だ。前任者の写真や他の市町村の広報（写真）を参考に色々撮っている。何を中心に撮るのか、何を伝えたいのか写

真に『思い』を乗せて撮影することが大事だと感じてきた。少しずつだがオートで撮影するだけではなく、しぼりやシャッタースピードなど一眼レフカメラの機能をもう少し使ってみようと思う。夏も近づき、花火大会ややまんなか音楽会など夜の撮影も増えてくるので、少しでも見やすく、わかりやすい「広報きんこう」になるようにこれからもがんばって行きたい。



発行／錦江町役場

編集／企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

ホームページ／http://www.town.kinko.lg.jp/ 印刷／(株)南大隅新報社印刷

